

熊本大学学術資料調査研究推進室

# ラフカディオ・ハーン

## 「東の国から」

### 発刊 120 年記念シンポジウム

ラフカディオ・ハーンは19歳の時、移民船でニューヨークに着き、アメリカ合衆国でジャーナリストとして活躍。約20年後来日。来日後、第1作の『知られぬ日本の面影』(1894)はハーンの熊本滞在中に刊行される。第2作となる『東の国から』(1895)は、熊本滞在中(1891. 11-1894. 10)に見聞・体験したものが中心的内容となっています。

『東の国から』はハーンの日本理解が更に深まり、日本と西洋の優れた比較文化論的作品になっていると言われてしています。この著書は好評で、たちまち版を重ねました。

『東の国から』は熊本を舞台とした「夏の日の夢」「九州の学生とともに」「永遠の女性」「生と死の断片」「石仏」「柔術」「願望成就」など多くの名作が入っています。本シンポジウムは、この中のいずれかの作品について触れ、論じることになります。

**日 時：平成27年11月19日(木)**

**14:30~16:00**

**場 所：熊本大学附属図書館(中央館)1階**

**入場無料**

<パネリスト>

◇永尾 悟 「永遠の女性」と英文学の女性像

◇西槇 偉 ハーンと豊子愷を比較して読む

—「九州の学生と共に」における師弟関係を手がかりに

◇濱田 明 「柔術」にみる東洋と西洋

◇西川 盛雄 「石仏」にみる東洋と西洋の比較

**進行：福澤 清**



**【主催】熊本大学附属図書館**